

2023年度文教サポーターズ募金のご案内

文教サポーターズ募金は2023年度も継続して寄附を募集しております。学生・生徒・児童・園児の教育活動のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校活動支援

大学、中学校・高等学校、小学校、幼稚園の教育活動のため活用させていただきます。



大 学

中学校・高等学校

小学校

幼稚園

課外活動支援

2023年度は7団体が寄附を募集しています。



越 谷 文 化 会 吹奏楽部

越 谷 体 育 会 **NEW** 女子ソフトテニス部

NEW 男子バスケットボール部

NEW 男子バレーボール部

湘 南 体 育 会 **NEW** 武蔵 殺陣剣舞会

東京あだち体育会 **NEW** 軟式野球部

中学校・高等学校 吹奏楽部



募集内容の詳細は、学園募金ホームページにてご覧いただけます

文教大学学園 募金



文教大学学園募金ホームページ <https://www.bunkyo.ac.jp/stf/fr>



2022年度 文教サポーターズ募金 活動報告書



学校法人文教大学学園 学園本部 理事長室(募金担当)

〒142-0064 東京都品川区旗の台3丁目2番17号

電話:03-3783-5511(代) FAX:03-3783-6109 E-mail:fr@stf.bunkyo.ac.jp



文教大学学園

御 礼

学校法人文教大学学園
理事長

野 島 正 也



謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学園に対するご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、この度は文教サポーターズ募金をはじめ本学園にご寄附を賜りましたこと、重ねて御礼を申し上げます。

文教サポーターズ募金は、学園各校の教育活動・就学支援のために、多くの方々に文教大学学園の「サポーター」として応援していただくことを目的として、2018年度に開始して以降、毎年多額のご寄附をいただいております。

文教サポーターズ募金以外のご寄附につきましても、奨学資金をはじめ多くのご支援をいただいております。

2022年度に皆様からお寄せいただいたご寄附につきましては、次頁以降にあるとおり、学園各校の教育活動及び学生の課外活動支援に活用させていただきました。あらためて皆様に厚く御礼申し上げます。

学園は今後も学生、生徒、児童、園児の教育環境充実をはかり、教職員一丸となって高い水準での教育を続けてまいる所存です。引き続きご支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

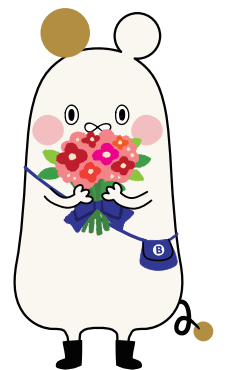
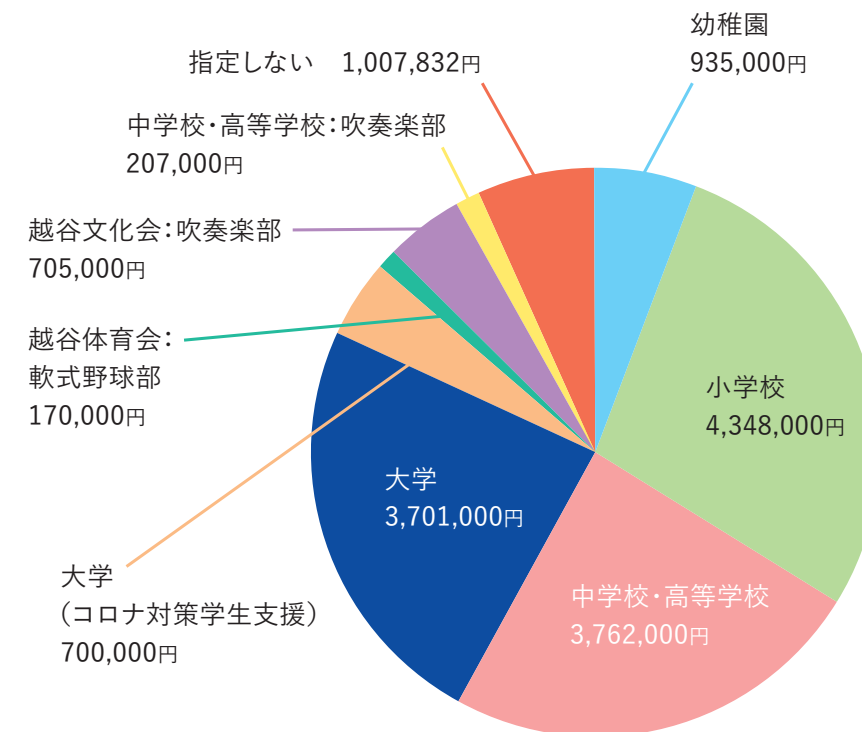
謹白

2022年度 文教サポーターズ募金受入実績

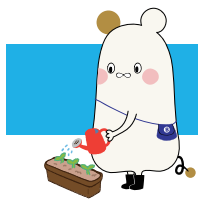
2022年度の文教サポーターズ募金(学校活動支援・課外活動支援)として、総額約1,553万円のご寄附をいただきました。ご指定いただいた学校・課外活動団体の内訳は以下のとおりです。

寄 附 総 額

【 15,535,832円 】



幼稚園	36件	935,000円
小学校	67件	4,348,000円
中学校・高等学校	79件	3,762,000円
大学	187件	3,701,000円
大学(コロナ対策学生支援)	37件	700,000円
越谷体育会:軟式野球部	4件	170,000円
越谷文化会:吹奏楽部	29件	705,000円
中学校・高等学校:吹奏楽部	11件	207,000円
指定しない	93件	1,007,832円



文教大学付属幼稚園



文教大学 付属幼稚園の ポリシー

文教大学付属幼稚園の理念「人間愛」
文教大学付属幼稚園の教育コンセプト「“学ぶ、をあそぼう。”の実施」
文教大学付属幼稚園の指導方針「“文教スタイル”で子どもを伸ばす」

2022年度の教育目標

学園建学の精神「人間愛」のもと、「素直で明るい元気な子ども」を教育目標として掲げ、教職員一丸となって子ども達を育みます。

- ①元気に挨拶ができ、正しい生活習慣を身につけた子ども
- ②慈愛・感謝の気持ちや思いやりの心をもち、感じたことを素直に表現できる子ども
- ③自分の役割を果たすとともに、自分のことは自分でやろうと努力する子ども
- ④好奇心が旺盛で、自ら積極的に行動できる子ども

園長あいさつ

2022年度にいただいたご寄附は、毎年2月に実施している「節分豆まき会」で使用する「鬼の衣装」の購入と、動物小屋の整備のために活用させていただきます。

季節の変わり目である『節分』にやって来る悪い鬼たちを、園児たちが退治する「節分豆まき会」は付属幼稚園に何十年もの間受け継がれてきた行事です。数年前のサポーターズ募金で購入させていただいた柵と合わせて、重厚感のある格式高いものとなり、子どもたちに日本の良き伝統を継承できるよう活用して参ります。

付属幼稚園には、多種多様な動物たちと触れ合う為の動物小屋があり、ニワトリ1羽、チャボ1羽、ウサギ6羽、亀10匹、インコ6羽を飼育しています。いただいたご寄附によって、子どもたちがより安心・安全に動物たちと触れ合い、動物たちにとってもよりよい環境となるよう動物小屋の整備をさせていただきます。

健やかな子どもたちの生活環境・教育環境の充実のために、引き続き「文教サポーターズ募金」の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をお願い申し上げます。



文教大学付属幼稚園
園長

中山 敦子

ご寄附の活用事例

鬼の衣装購入(2022年度)



園行事として威厳を保ちながらも子どもたちの心に残る楽しい思い出にするため、リアルティーにとんだ鬼の衣装を製作します。2023年度の「節分豆まき会」(2024年2月実施)でのお披露目を予定しております。

動物小屋の整備(2022年度)



遊具と並び園児の外遊びには欠かせない動物との触れ合い。動物の生命を守り、園児が安心して動物小屋を活用できるように、安全フェンスや庇の整備を行います。(2023年8月末完成予定)

舞台用ひな壇の増設(2021年度)

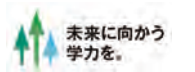


これまで、子どもたちの発表を効果的に演出してきた舞台用ひな壇。台数を増やすことにより、活躍の場が広がりました。

付属幼稚園の
詳細はこちら



文教大学付属小学校



文教大学 付属小学校の ポリシー

「ほがらかに たくしきよく あたたかく」
建学の精神「人間愛」を礎に、「あたたかいふるさとのような学校」
において世界に羽ばたく国際人を育成します。

2022年度の教育目標

「慈愛の心をもった子ども」「自ら学ぶ子ども」「情操豊かな子ども」「頑張る子ども」「明朗な子ども」の育成

- 一人ひとりの可能性を大切に育み、一人ひとりが輝ける学校へ
- 「教えられる学校」から「学びを創る学校」へ
子どもたちが自分自身の思考において活動する能動的な学びを創ります。
- いついかなるときも、学校と子どもと家庭がつながり、学びを止めない、学び続けることのできる「強い学校」を創ります。
- 多様な価値観を受入れられる柔らかい心と自分の考えの軸をもって表明できる強い心をもったグローバルに活躍する人材を育みます。

校長あいさつ

付属小学校では、児童が「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、生きる力」を身に付けるために、個別最適化された学びを持続的に実現していきます。その実現に向けて、2021年度から、一人一台のPC活用を必須とし、ICT機器を鉛筆・定規等の文房具のひとつとして使える人材育成を目指してきました。その成果もあって、国語・算数の主要教科を問わず、どの教科においても、学年の発達段階に合わせたスキルもしくは該当学年以上のスキルを身に付けつつあります。個別最適化の学び、加えて協働的な学びにおいても、ICT教育の推進は欠かせないものであり、今後さらに発展したICT教育を推進していくために、2022年度にいただいたご寄附により全学級へ充電のできるタブレット収納キャビネットを設置させていただきました。

多様な価値観によって成り立つこれからの社会を生きる子どもたちのために、購入させていただきました御品を教育活動に最大限役立てていきたいと思っております。引き続き、「文教サポーターズ募金」のご協力をお願いするとともに、心から感謝申し上げます。



文教大学付属小学校
校長

島野 歩

ご寄附の活用事例

タブレット収納キャビネットを
購入(2022年度)



鍵のかかる収納キャビネットを設置したことにより、荷物の多い日などは学校にタブレットを置いていくことができるようになりました。成長過程の児童の身体を守るため、活用させていただきます。

サイエンステクニカラー標本の
購入(2021年度)



自らの「なぜ?」や「どうして?」の疑問を引き出し、探究的に物事を考える材料として、豊かな標本を提示し、子どもたちの知識と想像力を育みます。

プロジェクターの整備(2021年度)



子どもたちがより快適に学習を行うことができるように、投影画像が明るく鮮明な視認性の高いフルハイビジョンのプロジェクターを全教室に整備いたしました。

付属小学校の
詳細はこちら





文教大学付属中学校・高等学校

文教大学付属 中学校・高等学校 のポリシー

本校で学ぶことで、すべての人を信じて、尊重して、あたたかく優しく思いやる「人間愛」の精神を育みます。また、自分の夢や生き方や、将来の進路を発見して、それに向けて努力し、希望進路を達成すること、さらにその進路希望の実現によって、日本だけでなく世界の人々の幸せな生活に役立ち、グローバルな社会で貢献できる人材を育てます。

2022年度の教育目標

生徒が明るく楽しい学校生活を送る中で、すべての人を大切に思う「慈愛の心」、知識と技術を磨き、自分で課題を発見して解決を目指す「輝く知性」、コミュニケーション能力や、ICTのリテラシーを高め、グローバルな視点をもつ「世界に飛翔する力」を育てます。さらに、学力を向上させ、自ら積極的に難関の進路にチャレンジすることができる、「進学力」の向上を目指します。

校長あいさつ

2019～2021年度にいただいたご寄附により、生徒達の自学自習をフォローするため、南棟2階に個人学習向けのブース型机を完備した「自習室」の増設と、タブレットによる課題や復習等の自学自習のためのネットワーク接続が校舎内のどこでも可能となるよう、全校舎内Wi-Fi化を実施させていただきました。引き続き、使用頻度の高い校内設備の充実を進めるため、2022年度にいただいたご寄附は、北棟2階大講義室の前方スクリーン及び後方ディスプレイの設置、体育館用大型プロジェクターの購入のために活用させていただきます。

授業以外にも生徒集会、学年会等での使用頻度が高い施設である大講義室に前方スクリーン及び後方にディスプレイを設置することで、どの座席からも投影内容が見やすくなり、授業並びに集会参加者等の理解度・満足度の向上が期待できます。

体育館用のプロジェクター購入では、大人数向けの場所でも明るく投影でき、より解像度の高いプロジェクターを設置することで企画内容の充実を図り、利用者の満足度向上並びに施設設備の活用促進を期待しております。

今後も生徒たちの学習環境をより一層充実させてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



文教大学付属
中学校・高等学校
校長

銅谷 新吾

ご寄附の活用事例

体育館用プロジェクターの購入
(2022年度)



利用者の満足度向上並びに施設設備の活用促進のため、大人数向けの場所でも明るく投影でき、より解像度の高いプロジェクターを購入いたします。

全校舎Wi-Fi化
(2019～2021年度)



体育館や自習室スペースなど校内のあらゆる場所からネットワークに繋がるようになり、体育や総合的な学習、課外活動でもタブレットを使えるようになりました。

自習室増設
(2019～2021年度)



自習室には、個人学習に集中できるようブース型の机を導入しています。2021年度の増設により、学年別での利用が可能となり、混雑緩和等、利便性が向上しました。

付属中学校・
高等学校の
詳細はこちら



文教大学

文教大学の ポリシー

人間愛とは、人間性の絶対的尊厳とその無限の発展性を確信し、すべての人間を信じ、尊重し、あたたかく慈しみ、優しく思いやり、育むことです。文教大学は、人間愛の教育を実践します。人間愛の教育とは、教員と学生、また学生と学生との関係を重視し、学生一人ひとりの個性を丁寧に伸ばすことを目指し、人間愛を持って学生を教育することです。その教育を通して、人間を信頼し全ての人に対して温かい愛情を持つ人材を育てることを目標とします。

2022年度の教育目標

建学の精神である「人間愛」を基盤に、人と人との絆を大切にしながら社会に貢献できる人材を輩出するべく、入学時の初年次教育から卒業時の卒業研究等に至る4年間を通じて、全ての学生に目が届きめ細かい教育を行います。また、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、本学の教育課程を実行します。

学長あいさつ

文教大学には、PC、スマートフォン等からアクセスできる電子書籍サイト「文教大学電子図書館」があります。本電子図書館は、文教大学の学生であれば、キャンパスを越えて全ての在学生が利用可能です。2022年度のご寄附によって、学生の学習・教養・情操の涵養、学生の生活や進路選択に役立つ資料を中心に電子書籍を購入しました。今後もコンテンツの拡充や広報を通じて、電子書籍利用の定着を図ってまいります。

そして、2022年度にいただいたご寄附では、新たな取り組みとして、国際交流活動再開に向けた学生への留学支援強化にかかる環境整備にも活用させていただきます。世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症の影響で、本学が実施する国際交流プログラムは、2020年度以降の約2年半の間、大多数のプログラムが中止され、本学学生は海外への渡航を断念する事態が続いておりました。2023年度以降、本格的に学生達の海外留学を再開していくため、そして海外への渡航に躊躇し不安を抱える学生たちの後押しとなるよう、留学支援のうち特に出発前の留学相談や準備支援の強化を目指し、国際交流の拠点となる各キャンパスの国際交流センターの環境整備を実施いたしました。

今後も学生たちの教育研究環境のより一層の充実のために役立ててまいりますので、引き続き「文教サポーターズ募金」の趣旨をご理解いただきまして、ご協力よろしくお願い申し上げます。



文教大学
学長

中島 滋

ご寄附の活用事例

電子書籍の購入
(2018～2022年度)



2021年度にいただいたご寄附では、過去の貸出回数が多い分野で手軽に利用できるものとして就職活動、小説、料理レシピ本、図鑑等「心・性・多様性」をテーマにした153冊を購入させていただきました。2022年度にいただいたご寄附でも、学生の学習・教養・情操の涵養、学生の生活や進路選択に役立つ資料を中心に購入させていただきます。

書籍「旅の指さし会話帳」の購入
(2022年度)



留学をイメージし易いよう現地で本当に活用できる書籍として、「旅の指さし会話帳」を購入いたしました。言語に自信がなくても「会話帳」さえあれば海外で過ごすことができる一例として紹介し、海外渡航に躊躇する学生たちの後押しをおこないます。

iPadの購入(2022年度)



留学支援時にiPadを活用し、ネット上やGoogleドライブ上にアクセスしながら留学にかかるマテリアルを相談時に閲覧できるよう整備するとともに、日本語や現地の言語での「正しい情報の探し方」についてもiPadを活用して支援いたします。

大学の
詳細はこちら





課外活動支援

01 【越谷体育会】 軟式野球部

寄附結果：**170,000円**

目標金額●150,000円

募集期間●2022年7月～2023年6月

購入品

NAIGAI PRACTICE BALL
M号練習球(10ダース入) 4箱

達成



MESSAGE

この度は、文教大学越谷体育会：軟式野球部へのご協力、部員一同厚く御礼申し上げます。多くのご寄附をいただき、誠にありがとうございます。

購入したボールは、日頃の打撃練習や守備練習など多くの場面で使用させていただいております。

皆様のご支援により、現在は東都学生軟式野球連盟1部リーグにて今夏の全国大会、今秋の東日本大会を目指し部員一同活動しております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

02 【越谷文化会】 吹奏楽部

2022年度寄附結果：**705,000円**

目標金額●1,500,000円

募集期間●2022年7月～2025年6月

購入品

①フルート(Pearl F-EP 925/RE)

②ユーフォニアム(YAMAHA Neo YEP-642S)

③ホルン(YAMAHA ゴールドプラス YHR-567GDB) 各1本

募集継続



吹奏楽部
ホームページは
こちら



03 【付属中高】 吹奏楽部

2022年度寄附結果：**207,000円**

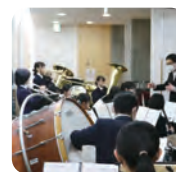
目標金額●680,000円

募集期間●2022年7月～2025年6月

購入品

マリンバ Korogi Marimba LV800(ゴールドアーチ)

募集継続

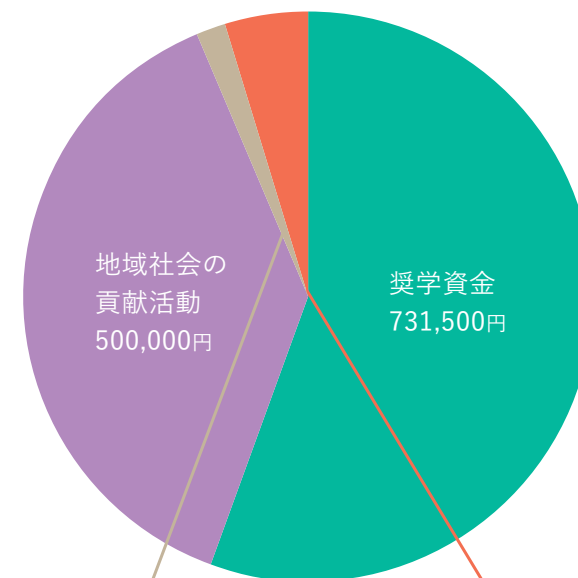


その他のご寄附について

文教サポーターズ募金(学校活動支援/課外活動支援)の他にも、奨学資金をはじめ多くのご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。ご寄附の趣旨に基づき、活用させていただきます。

寄 附 総 額

【1,311,500円】



奨学資金	2件	731,500円
地域社会の貢献活動	3件	500,000円
スポーツや文化活動の振興・発展への寄与	5件	20,000円
使途の指定なし	1件	60,000円

スポーツや文化活動の
振興・発展への寄与 20,000円

使途の指定なし
60,000円

石間奨学金授与式が行われました。

石間奨学金は、有限会社石間企画事務所からのご寄附により、大学4年生で勤勉かつ優秀な成績を修めた学生に対して給付される奨学金です。

授与式では、教育学部学校教育課程の4年生に代表取締役石間裕氏から目録・記念品と励ましのメッセージが贈られました。奨学生からは、感謝の気持ちと将来への強い決意が語られました。



寄 附 者 ご 芳 名

(2023年3月31日現在)

温かいご寄附を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

※敬称略 ※五十音順に掲載

個 人	伊 藤 絵美	岡 野 雅雄	川 窪 未来	齊 藤 貴義	杉 田 綾子	立 谷 昌弘	中 村 健一郎	深 井 克彦	三 輪 万寿夫
相 原 由美子	伊 藤 和明	岡 本 崇司	川 島 香	斎 藤 光	杉 田 文江	田 中 なほ子	中 村 三千代	深 田 明美	村 越 康夫
青 木 勉	伊 東 慶悟	沖 野 和麿	川 西 遥斗	酒 井 千鶴	杉 村 哲	田 中 正子	永 山 純菜	深 津 浩子	村 山 幸広
青 木 美久	伊 藤 雅幸	荻 野 忍	川 畑 光広	坂 口 浩子	鈴 木 綾子	田 辺 武光	並 木 規充	福 井 伊和	元 吉 勉
青 嶋 尉浩	井 徳 正吾	小 椋 郁乃	河 村 和仁	酒 澤 利二郎	鈴 木 一正	谷 口 高洋	成 田 豊	福 島 一人	八 木 紀江
青 山 美津子	稲 葉 のり子	長 田 尚子	川 村 礼子	坂 本 紀美子	鈴 木 孝宜	谷 脇 宗	新 井 田 七重	福 島 博子	保 田 昇
赤 羽 史	井 上 晃良	落 合 章子	河 本 龍進	坂 本 尚也	鈴 木 照男	種 村 聡子	西 尾 和江	藤 内 豊博	柳 田 孝義
秋 野 千鶴	井 上 さと子	小 野 和子	瓦 田 全	坂 本 律子	鈴 木 真希子	種 村 隆元	西 宮 弘之	藤 沼 瑞希	矢 部 基子
秋 元 努	今 井 悠美	小 野 竜司	菅 英勝	櫻 井 茂	鈴 木 万利子	田 畑 和輝	西 村 美佳	布 施 久美子	山 口 藍華
秋 山 房子	今 井 陽子	小 野 木 渡	神 田 晏子	櫻 井 昌子	鈴 木 祐司	田 畑 博子	丹 羽 はるみ	船 越 幸子	山 崎 喜久恵
浅 賀 恵美子	井 本 明裕	小 原 智之	神 田 修	佐 々 木 直子	鈴 木 陽子	千 田 政浩	沼 崎 孝彦	古 尾 谷 恵美	山 崎 光太
麻 生 田 圭一郎	岩 井 達	海 鋒 誉	木 下 喜子	佐 々 木 好枝	須 原 洋	千 葉 聡子	野 上 恵美子	古 河 よし江	山 田 寛英
熱 田 澄江	岩 瀬 祐二	風 戸 拓也	キャラハン タチアナ	笹 沼 晃	須 山 裕史	千 葉 和貴	野 原 亮太	宝 柳 敬仁	山 田 正範
阿 部 伸行	岩 瀬 美明	風 戸 結花	草 薨 和延	笹 山 祐子	諏 訪 朋之	張 孝云	野 村 康子	星 薫泰	山 野 井 順子
阿 部 睦夫	上 野 ひづる	風 間 真一	久 保 田 喜人	左 次 拓馬	関 口 晃成	津 久 井 葉子	野 本 利昭	星 川 泰彦	山 本 淳子
網 野 正道	植 松 慈	風 間 美奈	熊 谷 公子	佐 瀬 京子	関 野 環	辻 間 恵理子	灰 塚 益己	細 田 玲子	横 堀 恵美子
荒 井 弘	牛 山 勉	梶 井 華織	栗 田 泰介	定 野 司	是 津 耕司	津 島 祐一	萩 原 紀和	堀 川 晴美	吉 井 輝美
荒 木 斉	内 田 和子	鹿 島 秀樹	小 口 由紀子	佐 藤 可奈	曾 根 秀子	堤 秀崇	橋 田 哲也	本 田 勝浩	吉 岡 かおり
荒 原 光貴	海 川 博子	鯉 谷 正利	越 沼 柊二	佐 藤 公子	多 賀 久子	角 田 巖	橋 本 とし子	本 間 直子	吉 田 圭子
安 藤 己奈	漆 原 宏治	加 藤 央都	小 島 章弘	佐 藤 比佐子	高 木 悦子	鶴 川 房子	橋 本 真尚	増 田 純一	吉 田 千賀子
飯 島 悠光	枝 澤 政隆	加 藤 文代	小 島 誠	佐 藤 明子	高 桑 忠之	寺 田 裕子	橋 本 樹子	升 本 正	劉 陽
池 田 慎太郎	榎 戸 美幸	加 藤 元隆	後 関 香織	佐 藤 溶子	高 島 修	寺 田 充	橋 本 美幸	町 田 英明	若 月 美弥子
池 田 菜那	榎 戸 勇次	加 藤 幸義	小 多 喜 ます枝	佐 藤 慶明	高 島 ノブ	土 井 伯実	蓮 見 睦美	町 田 浩幸	我 妻 栄子
池 田 裕次郎	遠 藤 愛多	門 倉 康博	小 太 刀 澄江	猿 田 和弘	高 田 綾	土 井 恵	長 谷 一生	町 田 愛美	渡 邊 綾香
池 田 由希	遠 藤 美枝子	門 脇 寛至	小 谷 雅紀	澤 村 悠理	高 野 美穂	土 井 康行	長 谷 川 美樹	松 澤 和子	渡 辺 久実子
石 井 しおり	大 石 清美子	金 井 純也	小 幡 智宏	椎 名 京子	高 橋 邦昭	東 郷 悟	長 谷 川 友里	松 島 康夫	渡 部 純夫
石 井 節子	大 石 順子	叶 内 栄一	小 林 勝法	塩 沢 なほみ	高 橋 桂子	徳 井 宏	長 谷 部 清香	松 村 伊知郎	渡 辺 典子
石 井 勉	大 内 博幸	金 澤 臣晃	小 林 仁	塩 田 梨佳	高 橋 淳	徳 江 彰子	服 部 孝之	松 村 康弘	渡 辺 ひとみ
石 井 輝久	大 川 育子	可 兒 昌師	小 林 真詩	宍 戸 淳一	高 橋 徹	富 永 政雄	羽 生 田 洋子	松 本 明子	
石 垣 亮子	大 川 隆之	金 井 敬史	駒 井 壮介	篠 崎 光正	高 橋 秀行	豊 田 恵子	林 素彦	松 本 直子	
石 川 佳奈	オーケルホルム マーカス	金 子 薫	小 湊 美里	柴 田 心元	高 橋 良太	鳥 居 勢津子	原 美紀	松 本 直巳	法 人・団 体
石 田 恒好	大 澤 和美	兼 子 健雄	小 宮 妙子	柴 田 裕子	高 林 忠正	内 藤 晶子	原 田 町子	松 本 直巳	足 立 成 和 信 用 金 庫
石 橋 紀代子	大 塩 美恵子	金 子 ひとみ	小 宮 史之	島 崎 光順	高 林 宏和	内 藤 政子	肥 後 温子	丸 尾 真佐樹	
石 橋 妙子	太 田 恵子	金 子 ひろ子	菰 田 貞子	清 水 淳子	高 見 雅子	直 井 純子	菱 沼 久実	三 浦 比佐子	有 限 会 社
石 橋 千恵子	太 田 泰弘	壁 谷 学	小 山 圭子	朱 立炯	高 見 澤 豊子	直 原 徳賢	平 岡 美智佳	三 田 静香	石 間 企 画 事 務 所
泉 太	大 塚 政行	上 條 光代	小 山 悠	白 石 正美	高 柳 一夫	中 川 一貴	平 田 秋刀士	峯 田 尚子	
磯 部 守孝	大 塚 万里代	唐 橋 美紀	近 藤 功	新 熊 基	多 喜 弘子	中 込 久	平 野 悟	峰 村 良弘	
磯 山 広行	大 西 正輝	川 内 八重子	近 藤 可奈枝	神 野 和俊	滝 本 恵子	中 澤 真紀子	平 林 琴乃	宮 越 昭彦	
一 ノ 瀬 浩子	大 平 健	川 勝 文雄	齊 藤 昭子	末 岡 宏太	武 内 都	中 島 俊典	平 山 由布子	宮 澤 佳津子	
井 出 尚子	大 山 節子	川 口 綾子	齊 藤 真哉	菅 沼 隆昭	田 崎 竜太	中 田 靖子	蛭 田 政弘	宮 下 光太郎	
伊 藤 彰宏	大 和 田 千賀子	川 口 良	斎 藤 大介	杉 浦 弘承	多 多 納 千恵子	中 野 智貨子	廣 川 絵利果	美 谷 島 真	
								宮 本 裕也	